



2023年2月28日

各位

会社名 株式会社十六フィナンシャルグループ
代表者名 代表取締役社長 池田 直樹
(コード番号 7380 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 常務執行役員グループ管理統括部長 楠井 宏和
兼グループ企画統括部長
電話番号 (058)207-0016

「長期ビジョン『16Vision-10』」および「第2次中期経営計画」策定のお知らせ

株式会社十六フィナンシャルグループ（代表取締役社長 池田 直樹、以下「当社」といいます。）は、本日開催の取締役会において、10年後の「なりたい姿」をデザインした長期ビジョン「16Vision-10」と、2023年4月から2028年3月までの5年間を計画期間とする「第2次中期経営計画」の策定を決議しましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

地域金融機関を取り巻く環境は、人口減少や超高齢社会の進展等、日本固有の課題だけでなく、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により大きな変容をもたらした私たちの生活様式など劇的に変化しており、先が読めない時代に突入しています。

こうした時代においては、数年先をイメージした緻密な計画を策定するよりも、10年先を見据えたうえで、地域における当社グループの存在意義について突き詰めて考え、グループとして実現したい未来を描き、その実現に向け主体的に変革していくことが重要となります。今次の経営計画では、こうした考え方をベースに、従来の既成概念から脱却し、今後のグループ経営の羅針盤となる「長期ビジョン」を新たに策定しました。

10年後のなりたい姿である長期ビジョンのテーマは、「一歩先を行き、いつも地域の力になる」としました。140年超の歴史を有する十六銀行が培った、広く深い顧客基盤や日々集積する情報、張り巡らされた人的ネットワークを活用するとともに、事業領域の拡大等への環境完備を強みとして、常に一歩先を行き、いつも地域の力になる地域総合金融サービスグループを目指していきます。

また、この長期ビジョンの前半5か年を計画期間とする第2次中期経営計画を「1st stage」とし、10年後のなりたい姿からバックキャストで描いた「トランスフォーメーション戦略」「ヒューマンイノベーション戦略」「マーケットインアプローチ戦略」「地域プロデュース戦略」の4つの基本戦略を全社的な取り組みとして推進していくことで長期ビジョンの実現を目指していきます。

1. 全体像

当社グループ経営理念のミッション（＝パーパス）に掲げる、「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」のために、未来の当社グループのなりたい姿をデザインした「長期ビジョン」を策定するとともに、そこからバックキャストした5年間の「第2次中期経営計画」を策定しました。

2. 長期ビジョン：2023年4月～2033年3月（10年間）

一歩先を行き、いつも地域の力になる

十六フィナンシャルグループは、「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」という私たちの『存在意義＝パーパス』を原動力として、「サステナブル（社会的価値の創出）」と「グロース（経済的価値の創出）」を実現していくことで、地域社会である「お客さま」「役職員」「株主」に貢献することを目指します。

2032年度の目指す水準

- 連結当期純利益：300億円以上
- 連結自己資本比率：12%以上

様々な社会課題の解決

サステナビリティ KPI（2030年度目標）の達成

3. 第2次中期経営計画：2023年4月～2028年3月（5年間）

2027年度計数目標

項目	目標
連結当期純利益	200億円以上
連結ROE	5%以上
連結修正OHR	50%台
連結自己資本比率	11%以上

(添付資料)「長期ビジョン『16 Vision-10』」(概要図)「第2次中期経営計画(概要図)」

以上

<本件に関する問合せ先>

グループ企画統括部（広報担当） TEL (058) 266-2511

<長期ビジョン「16Vision-10」(2023年4月～2033年3月)の概要図>

長期ビジョン

一歩先を行き、いつも地域の力になる

16 Group Energy

存在意義(パーパス)を原動力として、
「サステナブル(社会的価値の創出)」
「グロース(経済的価値の創出)」を実現し、
地域社会(お客さま・役職員・株主)に貢献する。



社会課題の解決

- 持続可能な社会づくりへの貢献
- 地域における生活の質の向上

事業の成長

- 地域・社会の先駆者(フロントランナー)へ

- 新規事業領域へのチャレンジ
- 役職員の成長・活躍

長期ビジョンで大切にしている価値観

お客さま



当社グループは、地域で生活する皆さまや、地域に根差して活動を行う方とともに歩みます。

お客さまをよく理解し、自分事として、ともに課題の解決に努めます。

役職員



私たち役職員には、生まれ育ったこの地域に貢献したいという共通の想いがあります。

当社グループは、全役職員がこの想いを胸に、最大限に能力を発揮できる環境を醸成します。

私たちが生まれ育ったこの地域で、キラリと輝く人や企業を育てたい!

長期ビジョンのターゲット

2032年度の目指す水準

- 連結当期純利益:300億円以上
- 連結自己資本比率:12%以上

様々な社会課題の解決

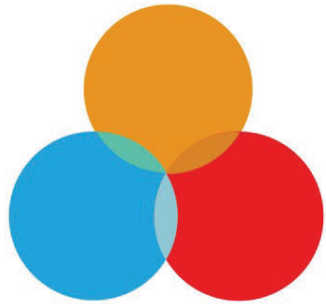
サステナビリティKPI(2030年度目標)の達成

第2次中期経営計画

(2023年4月～2028年3月)

一歩先を行き、いつも地域の力になる ～1st stage～

スピード感のある変革に挑戦し、新たな価値を創造する5年間



16 Group Energy
の発揮

十六
FG

新規事業領域の拡大

総合金融サービス機能の発揮

コビジネス(預貸金・為替)の深化

4つの基本戦略

トランスフォーメーション戦略 Transformation

“変革”から“創造”へ
トランスフォーメーションを起点とした
サステナビリティの実現

ヒューマンイノベーション戦略 Human Innovation

人材の価値を最大限に引き出す
役職員一人ひとりが自立的に
活躍できる組織環境の整備

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ

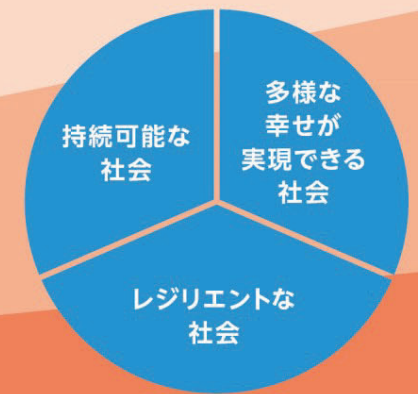
マーケットインアプローチ戦略 Market in Approach

お客さまの期待を超えるサービスを!
ソリューション提案力の高度化と
多様な課題解決に向けた営業深化

地域プロデュース戦略 Region Produce

地域を巻き込む新たな力になる
一歩踏み込んだ地域への関わりと
緊急時も含めた強靱な地域の創生

求められる社会像



私たちの使命 (mission) | お客さま・地域の成長と豊かさの実現

2021

2023

2028

2033

長期ビジョン

第1次経営計画

第2次中期経営計画

次期中期経営計画

2027年度の
計数目標

収益性

■ 連結当期純利益:200億円以上
■ 連結ROE:5%以上

効率性

連結修正OHR:50%台

健全性

連結自己資本比率:11%以上